



つボイノリオさん、小高直子さんと
一宮西病院のドクターによる健康対談企画

健康のつボ!

【聞き手】つボイノリオ(タレント)、小高直子(CBCアナウンサー)
【解説】たつみ一郎医師(一宮西病院)



解説

一宮西病院
整形外科部長
著書
『100年足腰』
(サンマーク出版)

たつみ いちろう
異 一郎 医師

ひざ関節の痛みについて

日本人の多くのご高齢の方が悩んでいる「ひざ関節」の痛み。手術だけではなく「切らずに治す保存療法」に力を入れてきている整形外科医・一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生にお話を伺います。

第14回

リハビリと定期検診

小高 ひざ関節痛について

第14回! お話を伺うのは一宮西病院・整形外科部長のたつみ先生です。最近は人工関節の手術について詳しく伺っておりますが、今回はその手術の後のリハビリと、退院した後の検査について、お話を聞きました。

たつみ ある程度、手術や

あるわけですよ、リハビリとかね。うち(一宮西病院の場合)は2週間ぐらい。大体、半置換術は1週間から10日で帰れるんですね。全置換術は2週間で帰ってはるんですけど、その間に徹底的にリハビリします。そういうのを乗り越えられるだけの楽しみ、「痛なくなったらこれ

やるんや!」とかね、「どここの山登る」とか、「卓球をする」とか、「九州へ旅行に行く」とか、そういうのを持つてる人は強いです!

つボイ なるほど。その楽しみを持ってリハビリをして、それで総合的な観点から、チームでいろんな先生がい

らっしゃって、内科の先生もいたり、いろんな先生が患者さんに対して様々な角度からアドバイスをなさるわけですよ?

たつみ そうでないとか高齢者の人は完全に治せないですね。いろんな病気出てきますからね。

小高 でも人工関節を入れた場合は、入れた人工関節が消耗してくる部分もあるので、定期的に検診というか

診察ですかね?受けてい

なくて? **たつみ** うちは大抵1年に1回、来てもらいます。で、3年以上経ったら2年に1回来てもらうようにしています。

つボイ 退院してからも、定期的に通わなくてはいいんだ、ということですね。私やったら痛くなくなったらあんまり行かへん

のやけどね。 **小高** でも、痛みがなくなるとしても、ひざに入れた人工関節の状態は、定期的

にチェックしておくのが大切のよう、特にクッションの役割をするポリエチレンの状態がどうなのか?っていうのが、重要なんですよ

仰ってましたよ。

たつみ ポリエチレン減って

も痛くないんですけど、やっぱりどれくらい減ったかをある程度把握しとかんと、もう症状出てきたときには骨、解けてるわけですから

ね。 **つボイ** やっぱ、定期検査と

いうのは大切なことや。 **小高** しっかりほら、痛くなくても、定期的に先生にこの日において言われたら、行かなあかんよと。

つボイ そういうことですよね。手術の後もちやんと、総合的な健康もやっぱり気を付けながら。人工関節にしたからって体重どんどん

増えたら、やっぱり負担、大きくなりますもんね。 **小高** そっか、だから、手術

前の生活を何も考えずにしていると、結局その手術前の生活っていうのは、ひざに負担をかける生活だったわけだから、自分ができる範囲でも、手術後はひざに負担をかけない生活ということも考えなくてはいいね。 **たつみ** 保存療法で自分で

治せた人は、ほんとに長生きするんですよ。健康でね。だって、全身状態までよくなる。

つボイ まあ、手術後も長い付き合いになるんですね。 **小高** だから先生のいうことをちゃんと聞いて、痛くなくても、定期的にちゃんと診察には行ってください

よ? **つボイ** はい!わかりました。 **小高** 「健康のつボ」ひざ関節痛について、「一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生でした。

ひざの痛みで外来受診を希望される方(初診)は、完全予約制となります。

【対象患者さま】①初診の方 ②膝の痛みを診てほしい方
詳しくはこちらまでお問い合わせください。

→予約専用ダイヤル TEL.0586-48-0026
受付時間:平日/9時~17時、土曜/9時~12時

次回折込は3月16日(水)を予定しております。ご期待ください。

※折込日は予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。